

教育行政推進の基本姿勢

根室市の教育は、平成27年度に策定した第9期根室市総合計画に基づき、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、活躍し、住み慣れた故郷の豊かさを実感できるまちづくりを目指すとともに、「子どもたちの社会を生き抜く力を育む学校教育」並びに、「市民の学びを高める生涯学習」を一層振興させていくことを基本として、教育行政を推進してまいります。

1. 子どもたちの社会を生き抜く力を育む学校教育

(1) 「確かな学力向上」等の取組みの推進

現在の根室市の児童・生徒の学力につきましては、直近の全国学力・学習状況調査や、標準学力検査の結果において、国語における「読むこと」や、算数・数学における「量と測定」、「関数」など、特定の領域・分野において正答率が落ち込んでおり、今後とも、「根室市確かな学力向上に関する取組方針」に基づき、学校や家庭・地域、教育委員会が連携して、学力の向上に取り組んでまいります。

【主な取組み】

- ① 全国学力・学習状況調査や、標準学力検査の分析結果に基づき、個々の児童・生徒の弱点や課題を整理し、その要因を明確にして授業改善に活用し、各学校の状況に応じた学力向上への取組を進めてまいります。
- ② 学力向上等補助教員を活用した習熟度別指導、ティーム・ティーチングなどにより、個に応じたきめ細かな学習指導を推進し「わかる・できる・楽しい授業」の実践につなげ、日常的な教育活動の充実を図ってまいります。
- ③ 指導方法の具体的な工夫改善策を実践するためには、教員の指導力の向上

が不可欠であることから、学力向上対策の先進地域に教員を派遣し、当市の教員の「授業力の向上」を図ってまいります。

- ④ 学習意欲や学習時間などに問題を抱える児童・生徒が多い現状から、「生活リズムチェックシート」の活用など、家庭での学習習慣や規則正しい習慣の定着化による「学びの環境づくり」に学校、家庭・地域が一層連携して取り組み、子どもたちの「自ら学ぶ意欲」の向上に努めてまいります。

(2) 「豊かな人間性の育成」に向けた取組の推進

子どもたちが互いを尊重し合い、思いやりの心や感謝の気持ちを育みながら、規範意識を向上させ、社会の一員として成長していくため、学校・家庭・地域が連携し、心身の健やかな発達を支えてまいります。

【主な取り組み】

- ① 今年度から正式教科となる道徳の授業を要としながら、学校の教育活動全体を通して、子どもたちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養ってまいります。
- ② 国における「いじめの防止等のための基本的な方針」の改訂を参酌して「根室市いじめ防止基本方針」の改定を行うとともに、引き続き学校・家庭・地域・関係団体との連携体制の充実に努めながら、啓発・学習などに取り組み、いじめの根絶を目指してまいります。
- ③ 「北方四島における共同経済活動」が進展する中であって、今後とも北方領土問題の学習を深め、未来に向けて考えていく態度を養うため、各学校において副読本や各種教材、資料コーナー等の活用を図りながら、返還要求原点

の地として積極的な取組を継続し、郷土を愛し、発展させていこうとする気持ちを育んでまいります。

(3) 特別支援教育の充実

特別な支援を要する児童・生徒の割合が増加しており、個々のニーズに応じた早期からの一貫した支援を図ってまいります。

【主な取り組み】

- ① 特別な支援を要する児童・生徒に対する指導方法等について研修会を開催し、指導・支援に携わる関係者の理解を深めるとともに、引き続き「子育てファイル"りんくす・ねむろ"」の全市的な普及や効果的な活用に努め、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行ってまいります。
- ② 障がいの多様化や重複化を背景に、将来の自立につながる専門的な教育を、できる限り身近な地域で望む声に応え、今後とも、特別支援学校分校・分教室の根室市誘致の実現に向けて、北海道教育委員会に対し要望を重ねてまいります。

(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

児童・生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるよう、計画的に教育環境の整備を進めます。

【主な取り組み】

- ① 小中学校の適正配置について、根室市立小中学校適正配置計画に基づき、引き続き保護者、地域の方々に対し丁寧な説明を継続のうえ、市民の皆様のご意見・ご要望を集約・分析し、市街地の中学校の配置のあり方について、今年度、最終的に判断してまいります。

- ② 小中一貫教育の実践のため新たに学校教育法に定められた「義務教育学校」の設置を検討することとし、今後、関係する学校との連携や、保護者や地域の理解を得ながら、その円滑な導入を目指し、小中一貫・連携教育の高度化に取り組むとともに、小中一貫・連携教育が大きな成果を上げるためには、学校と地域との連携・協力関係を深めることが重要であることから、保護者や地域住民の方々が学校運営に積極的にかかわるための学校運営協議会を設置し、当市におけるコミュニティスクールの導入を目指してまいります。
- ③ 学校におけるICTの利活用については、昨年度策定した教育情報化推進計画に基づき、今後、授業を効率的、効果的に進めるうえで望ましいICT環境等のあり方を見据えながら、学校における情報化を推進してまいります。
- ④ 児童・生徒数の減少に伴う今後の学校給食供給数の見通しや、施設の老朽化等を踏まえ、昨年度末をもって花咲学校給食共同調理場を廃止し、学校給食共同調理場の再編・効率化を図り、学校の教育活動に支障のない安定的な学校給食の供給に向け、環境整備に努めてまいります。

2. 市民の学びを高める生涯学習

第9期根室市総合計画の分野別個別計画である社会教育計画、スポーツ推進計画等に基づき、市民の多様な学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ってまいります。

(1) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

子どもたちが、異年齢の人たちとの交流を通じ、さまざまな体験を積み重ね、豊かな感性や情操を育成するため、地域コミュニティが中心となり、地域で子どもを育てる取組の充実を図ってまいります。

【主な取り組み】

- ① 市内の企業や市民団体、社会教育団体などと連携・協働しながら、地域の専門的な知識・経験を有する人材を活用した教育活動等、支援体制の構築に努め、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めてまいります。
- ② 子どもたちが豊かな人間性や社会性を育むため、異年齢の仲間とさまざまな体験活動などを積極的に行うことができるよう、地域住民や学校、関係団体などと協働しながら、各種事業を着実に推進するとともに、引き続き、青少年活動リーダーの養成に取り組み、青少年の健全育成に努めてまいります。
- ③ 子どもの放課後活動について、放課後教室等の指導員確保のため「子育て支援員」の養成研修会を実施し、新たな人材の掘り起こしや確保を図るとともに、「放課後子どもプラン」に基づき、地域の方々の参画・協力を得ながら、すべての子どもたちが安全・安心で多様な体験・活動を行うことができる居場所づくりに努めてまいります。
- ④ 「根室市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書普及活動について、乳幼児への「ブックスタート事業」および小学校1年生児童への「セカンドブック事業」を継続して実施し、子どもたちと本との出会いを支援してまいります。

また、家族での「家読（うちどく）」の普及や読書環境づくりなどを進めるほか、セカンドブック事業で子どもたちに贈る絵本の作家による講演会を開催し、子どもたちの読書習慣の形成や読書意欲の向上に努めてまいります。

(2) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

市民一人ひとりが心豊かで健康な生活を送るには、生涯を通じて積極的に学ぶとともに、その成果を生かせる環境づくりが大切であり、それに合わせ

たさまざまな学習機会や情報を提供する取組を進めてまいります。

【主な取り組み】

- ① 文化の振興について、根室市総合文化会館事業協会との連携の下、引き続き市民に対して優れた芸術鑑賞機会の提供に努め、さらには、根室市文化協会等と協働した市民の芸術文化活動の支援や発表機会の提供に取り組んでまいります。
- ② 根室市において長年、地域の遺跡調査に取り組まれ、多大な功績を残されてきた北構保男氏から昨年寄贈いただいた埋蔵文化財につきまして、十数万点に及ぶ資料の内容が概ね把握できましたことから、その一部について歴史と自然の資料館で常設展示を行い、また、一般向け図録集を発行するなどしながら、今後の保存・活用方策の検討に努めてまいります。
- ③ 根室市が誇る国内有数の歴史遺産である国指定史跡「根室半島チャン跡群」や天然記念物の動植物が国内外から注目されていることから、根室市文化財調査委員会などと協議し適切な保護や保存に努め、引き続き文化財の適切な活用にかかる情報発信等を進めてまいります。
- ④ 公民館活動について、青少年から大人まで、市民の幅広い参画を目指し、市民ニーズの把握や新たな視点からの講座開設などを図りながら、引き続き、幼児期から高齢期にわたる学習機会の充実に取り組むとともに、市民の自主的・主体的な活動を促進し、地域コミュニティの活性化につながるよう努めてまいります。
- ⑤ スポーツの振興について、本年で30年目を迎える「スポーツ・健康都市」宣言の推進のため、市民だれもが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるよう、指導者養成やスポーツ少年団の育成・活動支援、各

種スポーツ教室の開催やニュースポーツの普及をはじめ、温水プール配管等の施設設備改修を実施するなど、引き続きスポーツ環境の整備に、各種団体と連携・協力のもと努めてまいります。

- ⑥ 昨年度、新たなスタートを切りました「最東端ねむろシーサイドマラソン」について、今年度も市民の健康の保持・増進や体力の向上、心身の健全な発達を推進することに加え、全国から訪れる多くのマラソン愛好者との交流の機会を捉え、北方領土返還要求運動や地域振興に資する情報発信に努めてまいります。
- ⑦ 総合体育館の建設に向けましては、昨年引き続き「ふるさと応援寄附金」から建設基金の増額をいただいたところであり、今後、体育館整備に関し広く意見を求めるため設置した「根室市総合体育館整備市民委員会」において、市民・利用者の意向調査の結果などを踏まえ、建設にかかわる基本的な方向性の検討を進め、基本方針の策定を目指してまいります。
- ⑧ スポーツ・文化両面において児童・生徒の全道・全国大会遠征費を補助する「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」について、その対象範囲を拡充するほか、事業内容に新たにスポーツ講演会の開催や芸術文化の鑑賞・体験機会の提供などを加え、制度の充実に努めてまいります。
- ⑨ 図書館について、市民にとって親しみのある読書・学習の拠点施設として、今後とも資料や利用環境の整備・充実に努めるとともに、「おとな」の読書活動を一層推進していくため、郵便局と連携した「まちなかライブラリー」や「高齢者図書お届けサービス」など、地域との連携を深めながら各種事業に取り組み、市民の読書の楽しみを支援してまいります。